

講義名	観光経営学		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	田辺 文彦		
開講期・曜日・時限	前期集中 その他 その他	授業形態	
履修開始年次	3年生	単位数	2
		備考	

**主題と概要**

この科目は観光経営の概要について、さくっと夏期短期集中講義として学ぶ科目です。4日間の短期で集中的に単位取得が可能です。観光は、これまでも、そしてこれからも様々な外部要因によって変動しますが、長期的には、人々の好奇心、人と人の交流の機会は止められません。ここでは、人々が「旅する」という意思決定からスタートし、「旅を組み立て」（移動、宿泊、食事、アクティビティ）、その旅がどのように人々から評価され、商品として受け入れるかを、実習などを通して基礎から学ぶ科目です。

**到達目標**

観光経営に関連した基礎概念、用語を理解できる。  
 旅を組み立てる手順と観光産業との関係を理解する。  
 これらを議論・実習を通して体験し、基礎力として会得する。

**提出課題**

講義+実習をペアで実施。  
 実習後、作成した課題をその場で提出。

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック**

提出した課題は、次の時間にフィードバックを行う。

**評価の基準**

毎回の課題提出+毎日の宿題提出（50％）、総括演習レポート（試験に当たる）（50％）  
 レジュー持ち込み可のため、保管しておくこと。

**履修にあたっての注意・助言他**

頑張れば短期間に効率的に単位が取得可能  
 暑い夏を、一緒に乗り切りましょう。

<b>教科書</b>
.使用しない。

**プリント資料及び参考文献**

資料は、授業時にレジュームを配布  
 参考文献としては、広く世界で用いられかつ最新の改訂がなされているものとして、ツーリズムについて、  
 Charles R. Goeldner, J. R. Brent Ritchie "TOURISM Principles, Practices, Philosophies (12th Edition)" JOHN WILEY & SONS, INC, 2011

**授業計画**

1. イントロダクション
2. 観光と経営を考える
3. Roman Cities and Cultural Tourism ローマから文化観光を考える
4. 同演習
5. Father of Tourism Thomas Cook ツーリズムの父トーマスクックが作ったトラベルエージェントのビジネスモデル
6. 同演習
7. Naoshima and Art Tourism ベネッセが開発した直島のアートツーリズムのビジネスモデル
8. 同演習
9. Hankyu Transportation and Urban Development 阪急が切り開いた鉄道と都市開発モデル
10. 同演習
11. The King of Hotelier and the Grand Hotel セザールリッツが切り開いたグランドホテルのビジネスモデル
12. 同演習
13. Transportation and Tourism 観光と交通のこれまでの関係と、これからの関係
14. 同演習
15. Reporting 最終レポート作成演習

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
○ ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

**準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

各回毎に  
 授業前：事前の調べもの（旅の組み立て）に関する素材の検索（90分）  
 授業後：旅の組み立てと商品としての企画作成に関する作業（90分）

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

ICT活用による、調査実施。

**実務経験の有無及び活用**

担当教員は、民間シンクタンクにおいて20年間の企業、国・自治体に対する調査およびコンサルタント経験を有する。

**備考**

近年、夏は猛暑が続いています。体調管理に気をつけて、元気に履修しましょう。  
 連絡は、田辺文彦宛にメールで tana.fumi.kb@gmail.com